やがて来る未来から、目をそむけない

（令和2年の国勢調査：人口減少率県内ワースト）

「賢く収縮」から「賢く挑戦」へ

まちの規模を見直し、暮らしの価値を高める
（まちのあり方を人のあり方に合わせる）

**生み出したリソースを
こどもたちの未来へ**



義務教育学校「柵原学園」
（2小学校と1中学校を統合）

小さくして、価値を大きく

施設を集約し、利用者↑　維持管理費↘

倉庫？
物置庁舎？
ホームセンター？



6機能を集約した多世代交流拠点「みさキラリ」

役場本庁舎

執務面積3割強カット
㎡あたりの建築単価は他市町村の庁舎建設の半分以下

公民館利用者	13倍
図書館利用者	4.4 倍
物産センター売上げ	2倍

※住民主体の生涯学習講座が80以上に

減らしたのは、建物（将来の負担）

守るのは、暮らしに必要な機能

未来からありがとう

約30%

建築系公共施設の実削減面積
（概ね300回の住民説明会）

令和6年度除却予算
一般会計予算の1割

解体39施設63棟
売却10施設20棟（予定含む）



義務教育学校「旭学園」
（地域に学校を残す）



旧小学校を活用し8機能を集約した交流拠点「あさひなた」

縮むだけでなく、地域力を高める

「自分ごと」として困り事に向き合い、楽しみをつくる

にぎやかな過疎

小規模多機能自治（絆を深め、誇りを空洞化させない）

【事例】自治会（町内会）の枠を超えて



黄旗による安否確認



こどもたちも参加した空き家の片づけ



草刈りの学び合い

だれにも出番と役割 | 楽しいところに人は集まる

議会・行政・住民との共創

議会活動

義務教育学校特別委員会　11回
（R3～R6）

多世代交流拠点特別委員会　14回
（R3～R7）

議会全員協議会　101回
（R3～R7）

議会臨時会　19回
（R4～R8）

住民との対話で地域の課題解決へ





各地域・団体で開催する「出前議会」



多くの世代と意見交換「議会フォーラム」



明日につなぐ「議員アカデミー」

全世代・全地域でつながり、進化し続ける議会